

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループの主たる事業である電気事業では、節電・省エネルギーへのご協力をいただいたことや景気影響などから、総販売電力量は938億9千万kWhと、前年同期に比べて4.4%減少しました。

収入面では、電気料金の値上げを行ったものの、販売電力量の減少や燃料費調整単価の大幅な低下などに伴い電灯電力料収入が減少したことなどから、売上高は2,380,341百万円と、前年同期に比べて90,561百万円の減少となりました。

一方、支出面では、徹底した経営効率化に努めたことに加え、燃料価格の下落により火力燃料費が大幅に減少したことなどから、営業費用は2,199,970百万円と、前年同期に比べて337,555百万円の減少となりました。

この結果、当四半期の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

【連結経営成績】 (単位：百万円)

	平成27年3月期 第3四半期(累計)	平成28年3月期 第3四半期(累計)	増 減	
売上高	2,470,903	2,380,341	△90,561	△3.7%
営業損益	△66,622	180,370	246,993	—
経常損益	△77,972	171,468	249,441	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△66,631	112,308	178,939	—

【販売電力量】 (単位：百万kWh)

		平成27年3月期 第3四半期(累計)	平成28年3月期 第3四半期(累計)	前年同期比 (%)	
特定規模 需要以外 の需要	電灯計	31,254	30,444	97.4	
	電力	低圧	3,478	3,386	97.4
		その他	480	443	92.3
		電力計	3,957	3,828	96.7
	電灯電力計	35,212	34,272	97.3	
特定規模需要		62,969	59,619	94.7	
合計		98,181	93,891	95.6	

(注) 四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。

(2) 連結財政状態に関する説明

(単位：百万円)

科 目	平成 27 年 3 月期末	平成 28 年 3 月期 第 3 四半期末	増 減	
資 産	7,743,378	7,462,111	△281,267	△3.6%
負 債	6,683,158	6,270,126	△413,031	△6.2%
(うち有利子負債)	(4,315,256)	(4,084,484)	(△230,772)	(△5.3%)
純 資 産	1,060,219	1,191,984	131,764	12.4%

自 己 資 本 比 率	13.4%	15.7%	2.3%
-------------	-------	-------	------

(単位：百万円)

	平成 27 年 3 月期 第 3 四半期(累計)	平成 28 年 3 月期 第 3 四半期(累計)	増 減	
設 備 投 資 額	267,287	242,461	△24,825	△9.3%
減 価 償 却 費	287,829	275,401	△12,427	△4.3%

資産は、減価償却の進行などにより電気事業固定資産が減少したことや、短期投資（譲渡性預金）が減少したことなどから、前年度末に比べて 281,267 百万円減少（△3.6%）し、7,462,111 百万円となりました。

負債は、有利子負債が減少したことや、買掛金などの流動負債が減少したことなどから、前年度末に比べて 413,031 百万円減少（△6.2%）し、6,270,126 百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益（112,308 百万円）を計上したことなどにより、前年度末に比べて 131,764 百万円増加（+12.4%）し、1,191,984 百万円となりました。

これらの結果、当四半期末の自己資本比率は、前年度末に比べて 2.3%上昇し 15.7%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の利益予想につきましては、供給力の見通しが不透明であることなどから、一定の前提を置いて業績を想定することができないため、未定としておりましたが、現在、高浜発電所3号機および4号機の再稼働に向けて作業を進めているところであり、作業の進捗に伴い、原子力プラントの稼働期間を合理的に想定することが可能となったことから業績予想を算定しました。

なお、通期の売上高予想につきましても、最近の需給状況を踏まえて修正しております。

【連結業績予想（通期）】

（単位：百万円）

	前回予想（10月）	今回予想	増 減	
売 上 高	3,360,000	3,300,000	△60,000	△1.8%
営 業 損 益	—	260,000	—	—
経 常 損 益	—	245,000	—	—
親会社株主に帰属する 当 期 純 損 益	—	150,000	—	—

なお、業績予想につきましては、以下のような前提で算出しております。

【主要データ（通期）】

	前回予想（10月）	今回予想
販 売 電 力 量	1,332 億 kWh	1,307 億 kWh
原 子 力 利 用 率	—	2%程度
出 水 率	—	109.0%
全日本原油CIF価格	56ドル/バレル程度	50ドル/バレル程度
為替レート（インターバンク）	121円/ドル程度	121円/ドル程度

【影響額（通期）】

（単位：億円）

	前回予想（10月）	今回予想
原子力利用率：1%	—	62
出水率：1%	—	12
全日本原油CIF価格：1ドル/バレル	—	102
為替レート：1円/ドル	—	68

上記の「影響額」については、一定の前提に基づき算定した理論値であり、前提諸元が急激かつ大幅に変動する場合等には、上記の影響額により算出される変動影響が実際の費用変動と乖離する場合があります。